

○プロジェクト7 :

医療、介護、福祉と食、農の連携

【連携府省】 : 消費者庁、厚労省

【 23年度の主な実施状況 】

- 厚労省と連携し、医食農連携に関する多様な主体(医療関係者、農業者、食品製造業等)間で共有可能なグランドデザインを作成するため、医食農連携の新たな視点・枠組みについて検討を行った(医食農連携グランドデザイン策定支援事業(20百万円))。
- 福祉施設と農業生産法人との連携による施設外就労、福祉施設の農業参入等のモデル実証を行うとともに、農水省HPに障害者就労のページを作成し、優良事例等の情報を提供(障害者就労支援事業(129百万円の内数))。
- 厚労省の協力を得て、高齢者が健康づくりや生きがい目的で農作業を行う等の取組を進めるためのモデルを作成(24年3月)。

【 24年度以降の主な取組内容 】

- 事業化の促進へ向けたグランドデザインについて、更に先行的事業の検討・実行促進支援等を行う。
- 農林水産物・食品の機能性についての科学的エビデンスの獲得手法等を25年度までに開発する。
- 農業分野において障害者が安定して就労しうるモデルづくりを推進するとともに、福祉・医療現場において農村高齢者が農作業指導を行う仕組みづくりをモデル的に実施。

実施地域における具体的取組事例 ~1~

農業分野における障害者就労の推進



「障害者就労支援事業」を活用し、農業生産法人の(株)桃源は、NPO法人のぽんぽん船(障害福祉サービス事業所)と連携し、同NPO法人に登録する障害者の施設外就労を受け入れている。

障害者は、トマトの収穫、出荷調製などの作業を行っており、作業環境を整備し、作業の幅が広がるとともに、受け入れる障害者数も増加している。

農業生産法人側にとって障害者は欠かせない存在となり、直売所を通じて障害者が関わった農産物であることを消費者へアピールし販売している。



DATA

名称:農業生産法人 (株)桃源
所在地:島根県出雲市
耕作面積:1.7ha
従業員数:20名
受入障害者数:11名

実施地域における具体的取組事例 ~2~

医食農連携による食品のブランド化や
ビジネスモデルの構築



「医食農連携グランドデザイン策定支援事業」では、グランドデザインを策定するため、ワークショップを開催し「香川県の産官学による医食農連携」などについて検討・実行促進支援を行った。

ワークショップの中では、糖尿病予防作用等があるとされている機能性素材(希少糖)による医薬品や、機能性食品への応用開発による食品のブランド化、ビジネス展開の可能性検討などの提案があり、精査・指導を行った。

こういった取組について、今後も、ビジネスモデルになるよう支援・指導を行っていくこととしている。